

【FdData 中間期末：中学社会公民】

[民事裁判]

◆パソコン・タブレット版へ移動

[問題](後期中間改)

貸したお金を返してもらえないとか、建てた家に欠陥があったなど、個人や企業といった私人の間の争いについての裁判を民事裁判という(民事裁判のうち、国や地方公共団体を相手取って行う裁判は、特に行政裁判と呼ばれる)。自分の権利を侵害されていると考える人が、裁判所に訴えを起こし、裁判所の審理が始まる。訴えた人を原告というのに対し、訴えられた人をX(被告／被告人)という。なお、民事裁判において、判決を待たずに原告と(X)が合意して円満に解決することがある。これを和解という。文中の X の()内から適語を選べ。

[解答]被告

[解説]

〔民事裁判〕

行政裁判(民事裁判の一種)

原告：裁判に訴えた人

被告：裁判に訴えられた人

和解(当事者の話し合いで決着)

裁判には、民事裁判と刑事裁判とがある。

民事裁判は、貸したお金を返してもらえないとか、建てた家に欠陥けっかんがあったなど、個人や企業といった私人の間の争いについての裁判である。民事裁判のうち、国や地方公共団体を相手取って行う裁判は、特に行政裁判ぎょうせいと呼ばれている。

自分の権利を侵害しんがいされていると考える人が、裁判所に訴えうったを起こし、裁判所の審理しんりが始まる。

訴えた人が原告^{げんこく}となり、訴えられた人が被告^{ひこく}となって、自分の意見を主張する。

(裁判に訴えられた人の呼び方は民事裁判と刑事裁判では異なる。民事裁判では

「被告」、刑事裁判では「被告人^{ひこくにん}」と呼ばれる。) 民事裁判が行われている途中で

も、当事者^{とうじしや}どうしの話し合いがつけば、裁判をとりやめることができる。これを

和解^{わかい}という。和解は民事事件に特有のものであり、刑事事件では和解はない。

※出題頻度：「民事裁判○」「行政裁判△」

「原告○」「被告○」「和解△」

[問題](2 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 借金の返済請求, 損害賠償請求など, 私人の間の争いについての裁判を何というか。
- (2) (1)の裁判で, ①訴えた人, ②訴えられた人をそれぞれ何というか。

[解答](1) 民事裁判 (2)① 原告

② 被告

[問題](2 学期中間)

次の文章の内容について正しく述べたものをア～エから 1 つ選び、記号を書け。

A さんが、自分の自動車を知り合いの B さんに貸したところ、B さんが事故を起こして自動車が壊れてしまった。A さんは、修理費を払ってほしいと言ったが、B さんに拒否されたので、裁判所に訴え、裁判が始まった。

ア これは刑事裁判で、検察官が原告、A さんが被告人である。

イ これは刑事裁判で、検察官が原告、B さんが被告人である。

ウ これは民事裁判で、A さんが原告、B さんが被告である。

エ これは民事裁判で、B さんが原告、A さんが被告である。

[解答]ウ

[問題](前期期末)

次の文章中の①～⑤に適語を入れよ。

土地争い，相続をめぐる争いなど，私人の間の争いについての裁判を(①)裁判という。(①)裁判のうち，国や地方公共団体を相手取って行う裁判は，特に(②)裁判という。(①)では，自分の権利を侵害されていると考える人が，裁判所に訴えを起こし，裁判所の審理が始まる。訴えた人が(③)となり，訴えられた人が(④)となって，自分の意見を主張する。裁判官は，両者の言い分をよく聞いて，法律にもとづいて判決を下し，紛争の解決を図る。(①)裁判において，判決を待たずに双方が合意して円満に解決することがあるが，これを(⑤)という。

[解答]① 民事 ② 行政 ③ 原告
④ 被告 ⑤ 和解

[問題](入試問題)

民事裁判は、法にもとづいて争いごとの解決をはかる裁判である。この裁判に関する A, B の文の正誤の組み合わせとして、正しいものは下のア～エのどれか。

A 検察官が起訴することによって、裁判が開始される。

B 当事者どうしが和解によって争いを解決して、裁判を終了させることがある。

ア A=正, B=正

イ A=正, B=誤

ウ A=誤, B=正

エ A=誤, B=誤

(長崎県)

[解答]ウ

[解説]

Aは誤り。「検察官が起訴することによって、裁判が開始される」のは刑事裁判である。

Bは正しい。

【各ファイルへのリンク】

社会地理

[\[世界 1\]](#) [\[世界 2\]](#) [\[日本 1\]](#) [\[日本 2\]](#)

社会歴史

[\[古代\]](#) [\[中世\]](#) [\[近世\]](#) [\[近代\]](#) [\[現代\]](#)

社会公民

[\[現代社会\]](#) [\[人権\]](#) [\[三権\]](#) [\[経済\]](#)

理科 1 年

[\[光音力\]](#) [\[化学\]](#) [\[植物\]](#) [\[地学\]](#)

理科 2 年

[\[電気\]](#) [\[化学\]](#) [\[動物\]](#) [\[天気\]](#)

理科 3 年

[\[運動\]](#) [\[化学\]](#) [\[生殖\]](#) [\[天体\]](#) [\[環境\]](#)

【FdData 中間期末製品版のご案内】

このPDF ファイルは、FdData 中間期末をPDF 形式(スマホ用)に変換したサンプルです。製品版のFdData 中間期末はWindows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイル(A4 版)で、印刷・編集を自由に行うことができます。

◆FdData 中間期末の特徴

中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData 中間期末は、実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約1800～2100ページと豊富な問題を収録しているため、出題傾向の90%以上を網羅しております。

FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは、「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受け

た今回の期末試験では、ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として、塾の生徒に FdData の膨大な問題を解かせたところ、成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは、製品の全内容を掲載しており、どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし、FdData 中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を、鉛筆を使って一問一問解き進むことで、大きな学習効果を得ることができます。さらに、製品版は、すぐ印

刷して使える「問題解答分離形式」、編集に適した「問題解答一体形式」、暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の3形式を含んでいますので、目的に応じて活用することができます。

[FdData 中間期末の特徴\(QandA 方式\)](#)

◆FdData 中間期末製品版の価格

社会地理, 歴史, 公民 : 各 7,800 円

理科 1 年, 2 年, 3 年 : 各 7,800 円

数学 1 年, 2 年, 3 年 : 各 7,800 円

ご注文は電話, メールで承っております。

[FdData 中間期末\(製品版\)の注文方法](#)

※パソコン版ホームページは, Google
などで「fddata」で検索できます。

※Amazon でも販売しております。

(「amazon fddata」で検索)

【Fd 教材開発】 電話 : 092-811-0960

メール : info2@fdtext.com